



1 放送による聞き取りテスト (9点)

2 次の各問いに答えなさい。(14点)

問一 次の(1)～(5)の——の漢字の読みがなを書け。  
また、(6)～(10)の——のカタカナの部分を楷書で漢字に書き改めよ。

- (1) 勝利を掌中におさめる。  
(2) 声色を変えて話す。  
(3) 人生の岐路に立つ。  
(4) 最寄りの駅で降りる。  
(5) 最後まで競り合う。  
(6) 栄えたオウジをしのぶ。  
(7) 優れたズノウをもつ。  
(8) バスのシャソウから手を振る。  
(9) 練習プリントをスる。  
(10) 大変な仕事をシいる。

問二 次の——線部の漢字として適切なものはどれか。

- (1) チョウ衆から拍手が起こる。  
① 眺 ② 徴 ③ 聴 ④ 超
- (2) 昔の感ガイにふける。  
① 慨 ② 該 ③ 外 ④ 概
- (3) 川に橋をかける。  
① 掛 ② 架 ③ 駆 ④ 懸
- (4) 大きな割合をシめる。  
① 締 ② 閉 ③ 支 ④ 占

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(12点)

うぐひすは、(漢詩などにもすばらしいものとして) 文などにもめでたきものに作り、声よりはじめて

(様子、姿も) (あれほど上品で愛らしいわりには)

さまかたちも、さばかりあてにうつくしきほどよりは、(注1) 九重の

うちに鳴かぬぞいとわるき。(そうなのだ) 人の「さなむある」と言ひしを、

(そつでもないだろうと思っていたけれど、十年ほどお仕えして)

さもあらじと思ひしに、十年ばかりさぶらひて聞きしに、まことに

<sup>3</sup>音せざりき。

(注1) 九重 — 天皇の住居。作者は天皇の後に女房として仕

えていた。

— 「枕草子」より —

問一 ぞ<sup>1</sup> とある、この語の他に用いられている係りの助詞を、本

文中から二字で抜き出して書け。

問二 さぶらひて<sup>2</sup> を現代かなづかいに改め、ひらがなで書け。

問三 音せざりき<sup>3</sup> の「音」とは具体的に何か。十字以内で書け。

問四 清少納言が、「うぐひすは、文などにもめでたきものに作り」

と書いたように、唐代の詩人杜牧は『江南春』という作品にうぐいすを詠んだ。次の詩を読んで、後の問いに答えよ。

江南春 杜牧 江南の春 杜牧

千里鶯啼緑映紅 千里鶯啼きて緑紅に映ず

水村山郭酒旗風 水村山郭酒旗の風

南朝四百八十寺 南朝四百八十寺

多少楼台煙雨中 多少の楼台煙雨の中

(1) 詩の形式はどれか。

- ① 五言絶句 ② 五言律詩 ③ 七言絶句 ④ 七言律詩

(2) 次の文章は、『枕草子』と『江南春』の鑑賞文である。□に入る語句を十字以内で書け。

『江南春』では、うぐいすの鳴き声が、眼下に広がる千里四方のあちらこちらから聞こえてくる情景を描いているのに対し、『枕草子』では、うぐいすが□ことを軽妙に表現している。

4

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(31点)

著作権保護のため、掲載いたしません。



著作権保護のため、掲載いたしません。

著作権保護のため、掲載いたしません。

著作権保護のため、掲載いたしません。

著作権保護のため、掲載いたしません。

—  
額賀滯「タスキメシ」より  
—

著作権保護のため、掲載いたしません。

問一 たしなめる<sup>2</sup> 首を傾げる<sup>5</sup> の本文中での意味はどれか。

- (1) たしなめる
- ① ほめて得意にさせる
  - ② 顔色をうかがい遠慮する
  - ③ おだやかに注意する
  - ④ おどして恐怖を抱かせる

- (2) 首を傾げる
- ① ななめ前を見る様子
  - ② 不審に思う様子
  - ③ 注意深く聞く様子
  - ④ 期待して待つ様子

問二 A B に入る語として適切なものはどれか。

- (1) A
- ① 懐かしい
  - ② 苛立たしい
  - ③ 図々しい
  - ④ 馬鹿馬鹿しい

- (2) B
- ① 器用
  - ② 不器用
  - ③ 神経質
  - ④ 無神経

問三 区間の変更もなしだった<sup>1</sup> 理由として適切なものはどれか。

- ① 春馬には、走者として可能性があり、早馬が期待しているから。
- ② 春馬の足の違和感は、深刻なものであると助川が判断したから。
- ③ 自分が希望した区間以外は、全力で走らないと春馬が宣言したから。
- ④ 春馬の性格上、一番良い走りを見せる区間だと顧問らが考えたから。

問四 3 具材を多めにしているようだ<sup>3</sup> はいくつの文節でできているか。

- ① 四
- ② 五
- ③ 六
- ④ 七

問五 4 次の文章は、白身と黄身を一緒に混ぜるか別々に混ぜるかで、随分口触りが変わる<sup>4</sup> を読んで、生徒が調べた資料とそれをふまえて推測したものである。これを読んで(1)～(3)の問いに答えよ。

資料

【共立て】

卵白と卵黄を一緒に泡立てること。

別立てに比べ泡立てにくく、湯せんが必要だが、混ぜ合わせやすく、しっかりとした弾力を持つ生地ができる。

【別立て】

卵白と卵黄を別々に泡立てること。

共立てに比べ生地があらくなりやすいが、膨らまない・へこむといった失敗が少なく、軽くふわふわとした生地ができる



I が「X」と発言していることから、II の好みに合わせて Y カステラを作ったことがわかる。共立てではしっかりとした弾力を持つ生地が出来るため、Y カステラを作るには、別立てが適している。よって、早馬が選択したのは別立てである。

(1) I II に入れる人物として適切なものはそれぞれどれか。

- ① 春馬 ② 早馬 ③ 助川 ④ 都

(2) X に入る語句を本文中から十字で抜き出せ。

(3) Y に入る語をひらがな五字で書け。

問六 走るの<sup>6</sup>って孤独だよな と助川が思う理由は何か。

- ① チームの代表として、選ばれなかった者の思いを一人で背負って走らなければならないから。  
 ② 他の選手の存在や自身の心身の限界、怪我の恐怖を意識しながら一人で走らなければならないから。  
 ③ 他の部員は、チームメイトであると同時に各区一人の少ない枠を争うライバルでもあるから。  
 ④ レース中に何かトラブルが起こっても、自分で対処しなければならぬ決まりがあるから。

問七 走ることを自ら手放してしまうほどのしんどさ。の修辞法は何か。<sup>7</sup>

- ① 擬人法  
 ② 倒置法  
 ③ 体言止め  
 ④ 反復法

問八 本文の説明として適切なものはどれか。

- ① キャプテンとして三年生の早馬より速い春馬をメンバーに推薦したことに負い目を感じている助川と、このチームで優勝することで早馬の思いに報いようと考えている春馬の気持ちを、写実的に描いている。  
 ② 弟の春馬に期待を寄せ、部活を引退してから献身的にサポートを続ける早馬と、その気持ちに応えるため、足の痛みをこらえ全力で走りきろうと考えている春馬の様子を、それぞれの視点から主観的に描いている。  
 ③ 思ったことをはっきり口にする都に惹かれていく自分に戸惑いながらも、周りの反応から料理の腕が上がったことを実感し、料理の道に進もうと考えている早馬の様子を、春馬の視点からテンポ良く描いている。  
 ④ 競技から離れていく早馬の姿を見ながらも、もう一度共に走りたいという思いから、今日の走りでも早馬の気持ちを陸上に引き戻せないかと考えている助川と春馬の気持ちを、会話を多用しながら描いている。

5

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(34点)

著作権保護のため、掲載いたしません。

著作権保護のため、掲載いたしません。

著作権保護のため、  
掲載いたしません。

問一 波紋<sup>1</sup>を呼ぶ とがめる<sup>2</sup> の本文中での意味はどれか。

—— 小川和也「デジタルは人間を奪うのか」より ——

(1) 波紋を呼ぶ

- ① 噂になる
- ② 影響力がある
- ③ 世間を騒がせる
- ④ 不信感を与える

(2) とがめる

- ① 責める
- ② 心を痛める
- ③ 気を悪くする
- ④ 気にかける

問二 このマイクの機能<sup>3</sup> とはどのようなものか。

- ① 普通は聞こえないような小さな声を拾って聞こえるようにするもの。
- ② 人が心の中で思っていることを察して周囲に伝えようとするもの。
- ③ 個人の感想でしかないものを公のものとして発表しようとするもの。
- ④ 個人の心の中をつぶやきを文字にして世間に広く拡散させるもの。

問三 拡散<sup>4</sup>する力は、吉田首相のつぶやきを拾ったマイクの性能よりも格段に上だ。は何のどのような機能について述べたものか。

- ① 最近のマイクの、多くの人の意見をすべて拾って社会全体に伝える機能。
- ② 最近のマイクの、どんなに小さな声でも拾って多くの人に聞こえるようにする機能。
- ③ ソーシャルメディアの、多くの人の発言を漏らすことなく正確に社会に広める機能。
- ④ ソーシャルメディアの、発言者の何気ない言葉を瞬時に多くの人に伝える機能。

問四 それ<sup>5</sup> が指す内容を簡潔に十五字以内で書け。

問五 この井戸も、いまとなつてはまさにソーシャルメディアがその代役を果たしているとはどういうことか。

- ① 井戸は、人の秘密やうわさを周囲に広める拡声器のような役割を果たしているということ。
- ② 井戸端は、人々が集まって様々な噂話をしながら交流を深める役割を果たしているということ。
- ③ ソーシャルネットワークは会議の参加者の発言を正確に記録し公にする役割を果たすようになったということ。
- ④ ソーシャルメディアが人の秘密や失言を周囲に広める役割を果たすようになったということ。

問六 ソーシャルメディアのような拡声器の「ような」と用法が同じものはどれか。

- ① 私は、彼女のようなピアノ奏者になりたい。
- ② 彼女は、宝石のような輝きを放っている。
- ③ 祭りはいつまでも終わることがないような賑わいだ。
- ④ 時間内で終われるようなプログラムを計画する。

問七 予見<sup>8</sup>の類義語を漢字二字で書け。

問八 ソーシャルメディアの中の失言はそうもいかないのはなぜか。

- ① ソーシャルメディアというものは、個人の利益よりも公の利益を優先しなければならないものであるから。
- ② ソーシャルメディアの中の記録は、本人の意志に関係なくあつという間に拡散し、消去しきれないものだから。
- ③ ソーシャルメディアの中の情報は、多くの人に共有されることで価値を高め保存されるから。
- ④ ソーシャルメディアがもつ機能は、言った本人の責任が問われ続けることを目的として作られているから。

問九 失言<sup>10</sup>はそれが口から吐かれたものとは違った形でより負の方向へ肥大化していくの説明にあてはまらないものはどれか。

- ① ソーシャルメディアの中でつぶやいた失言がマスメディアの力で不特定多数の人に受け取られるときに、それぞれの思い込みや偏見が加わること。
- ② ソーシャルメディアの中で生まれた失言をマスメディアが拡散していくうちに、発言者の意図とは関係なく話が大きくなっていくこと。
- ③ ソーシャルメディアの中で生まれた失言をマスメディアが取り上げることで、本来口に出すべきではないことも公然と発言できるようになったということ。
- ④ ソーシャルメディアの中でつぶやいた失言がマスメディアの拡散力によって、更に思いもよらない方向に変化し收拾がつかなくなっていくこと。

問十 デジタルがもたらす光と影の「光」「影」はどのような意味か。それぞれ漢字二字の熟語で書け。

問十一 次に示すのは、この文章を読んだ五人の生徒の感想である。本文の内容を正確にとらえていないのはどれか。

①生徒A

一国の首相や政治家など責任ある立場にある人たちは何気ないつぶやきにも昔以上に気をつけなければならぬ世の中になったのだと思う。

②生徒B

井戸の奥に向かって「王様の耳はロバの耳」と叫んだだけで、街中の人に秘密を知られてしまうことになるのは予想できなかったと思う。

③生徒C

ソーシャルメディアは、失言を誘い出したり、判断力を失わせたりする怖いものでしかないのでデジタルは一切使わないようにしようと思う。

④生徒D

ソーシャルメディアの中つぶやきは発言者の意志に関係なく拡散され、完全には消すことができないということを忘れてはならないと思った。

⑤生徒E

一見便利に思える道具も使い方を間違えると取り返しが付かないことになることが改めてわかったので十分気をつけようと思った。





